

## 経済学部 経済学科

### 【教育目標】

学則第3条に掲げる教育研究上の目的を達成するために、経済学科は以下の教育目標掲げる。

1. 知識・理解
  - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解  
経済学の基本的知識とその基礎となる経済社会に関する知識について、その体系的な理解力を養う。
2. 汎用的技能
  - ・コミュニケーション・スキル  
日本語と特定の外国語を用いて他者と意見交換し、また協力できる能力を養う。
  - ・数量的スキル  
経済学の基礎となる数学・地理歴史等の知識を習得させる。
  - ・論理的思考力  
経済学の思考方法に基づいて、意見の異なる者と適切に議論できる能力を養う。
  - ・問題解決力  
未知の問題を発見し、経済社会に関する知識に基づいてその解決に寄与する能力を養う。
3. 態度・志向性
  - ・チームワーク、リーダーシップ  
自らの役割を理解し、リーダーシップを発揮してその責務を果たす資質を培う。
  - ・市民としての社会的責任  
経済社会の課題が有する多面性を理解し、広く社会に貢献できる能力を養う。
  - ・生涯学習力  
経済社会の諸現象を科学的に探求できる姿勢を養う。

### 【ディプロマ・ポリシー】

経済学の基礎知識を学んだ上で、情報化・国際化に対応した講義や就職を意識したキャリア教育関連科目などを通じて、実践的な科目を修得し、以下に示す幅広い知識・能力を習得し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与します。

1. 知識・理解
  - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解  
「企業経済」、「産業組織」、「生活経済」、「社会福祉」、「財政」、「金融」、「環境」などのより具体的な対象において、また「世界の中の日本」を意識しながら国際社会において、経済学がどのように活用されているのかを理解することができる。
2. 汎用的技能
  - ・コミュニケーション・スキル  
日本語と特定の外国語を用いて自分の意見を表現でき、また他者の意見を理解することができる。幅広い国・地域の人々とのコミュニケーション経験を持ち、初対面の人とも日本語と特定の外国語を用いて自由に対話できる。
  - ・数量的スキル  
経済学の基本的な知識を数量的に説明することができる。日本やアジア・太平洋地域の主な国と地域について、数量的な知識を習得している。
  - ・論理的思考力  
経済理論の知識を踏まえて社会の変化を捉え、時事問題等について自分の見解を述べ、異なる意見と比較することができる。世界の動向や経済政策について、経済理論を踏まえて意見を述べることができ、他の意見との相違点を理解することができる。
  - ・問題解決力  
新たに直面した問題に対し、自らの知識・経験を生かしつつ、関連する情報・データを収集・分析し、その解決に向けて行動することができる。国際間の社会的相違や関係者の意見の相違を踏まえて、問題を柔軟に解決することができる。
3. 態度・志向性

- ・ チームワーク、リーダーシップ  
自らが所属する組織の課題解決に向けて、メンバーと協調しつつ、責任感を持って積極的に行動することができる。日本を含む諸国の人々を尊重し、チームワークを維持することができる。
- ・ 市民としての社会的責任  
経済社会に関わる人々の多様性を理解し、経済学の知識を用いて、社会の発展のために行動できる。日本を含む諸国の事情に対する知識を持ち、異なる社会的背景を持った人々を尊重して協調的に行動できる。
- ・ 生涯学習力  
現実の諸問題に深い関心を持ち、問題解決のために必要な知識・資源を獲得することができる。国際社会の諸問題に深い関心を持ち、問題解決のために必要な知識・資源を獲得することができる。

### 【カリキュラム・ポリシー】

1,2 年次には経済学部生として「経済学入門科目」、「経済学基礎科目」、「総合教育科目」を履修し、経済学を学ぶ上で必要となる基本的な知識や考え方を身に着けるとともに、一般的教養を養い社会に対する関心を深めます。その後、自らの関心に基づいて3年次から経済学専攻、国際経済学専攻を選択します。

3年次から経済学専攻に配属された学生に対しては、1,2年次に培った経済学の考え方をさらに専門的かつ実践的に身に着け、経済の仕組みをより詳細に分析するための科目として「経済学専攻応用科目」が配置されています。「経済学専攻応用科目」は、「景気」、「高齢化」、「格差社会」、「環境」、「福祉」、「企業活動」、「金融」、「財政」、「情報」、「AI」などのキーワードを手助けとしながら、各分野における経済理論とその具体的な応用について理解を深めます。

3年次から国際経済学専攻に配属された学生に対しては、1,2年次に培った経済学の考え方を、「世界の中の日本」や「アジアの中の日本」といった国際的な枠組みの中で活用するための学びを進める科目として「国際経済学専攻応用科目」が配置されます。「国際経済学専攻応用科目」は東アジア、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなどの「諸国の経済と社会」、「貿易」、「国際協力」、「国際開発」、「国際金融」、「観光」、「SDGs」などのキーワードを手助けとしながら、それぞれの地域の経済事情と各地域の経済と社会を読み解くための概念や理論について専門的に学んでいきます。これらの学習・研究を通じて、具体的な国際経済の現実と具体的な分析手法についての理解を深めます。

また、経済学部は両専攻の配属にかかわらず、2年次後期から4年次にかけて「専門演習」を履修します。経済学部における学びの集大成としての「卒業論文」の作成・提出を行うため、「専門演習」では、資料読解、意見の形成と発表、討論の能力を訓練し、主体的な研究能力と協調性を学び、少人数による報告、議論を繰り返すことによって説得力を伴って自分の見解を表明できる能力の獲得を目指します。

そして、4年次には大学での学びの最終成果として「専門演習」担当教員の指導のもと「卒業論文」を執筆し、合格することで卒業を目指します。

経済学の基礎知識を学んだ上で、実践的な科目を修得し、幅広い知識・能力を身につけるため、入門、基礎、応用へと体系的に学ぶために「総合教育科目」「専門入門科目」「専門基礎科目」「専門応用科目」「専門実践科目」を配置します。

初年次に経済学部生全員が履修する少人数の基礎演習1、基礎演習2を配置し、また2年次に基礎演習3を配置し、さらにより専門性の高い経済学を発展的に習得できるよう、少人数による専門演習1, 2, 3, 4, 5を配置します。

### 【アドミッション・ポリシー】

経済学部は、変動する経済社会に対応できる人材を教育することを目標として、「経済学科」を設置し、経済社会の様々な課題を解決しようとする意欲をもった学生を募集しています。経済学部では2年間で修得した経済学の基礎的知識と学生自身の興味関心に基づいて、「経済学専攻」、「国際経済学専攻」の2つの専攻のどちらかに配属されます。そこで、経済学部では、経済学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいて、下記のような資質を持つ人の入学を募っています。

(求める学生像)

(1) 基礎的・基本的な知識・技能について

1. 日本語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力

- 2.外国語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力
- 3.地理歴史公民分野の基礎知識
- 4.科学技術についての基礎知識

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- 1.人との基本的なコミュニケーション力
- 2.基本的な論理的思考力
- 3.異文化理解への関心
- 4.日本や世界の社会・文化・時事問題への興味・関心

(3) 主体的に学習に取り組む態度について

- 1.現代社会の動きや日本経済、ビジネスに関心を持っていて、これからの社会がどんな方向に進んでいくのか、きちんと学びたい学生。
- 2.将来の進路についてはっきりした意志を持ち、グローバルな視野を持ちたい学生。
- 3.主体的に物事に取り組み、自らの知識や経験を発展させる意欲がある学生。

上記のような資質と関心を持った学生を求めるために、経済学部では、AO 入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試などを設け、上記の資質と関心について学力だけに偏らない多面的な評価を行って学生を募集します。

(選抜方法)

区分 入試 名称  求める 学生像	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜			その他の選抜		編入学
	AO	クラブ	専門学科・ 総合学科 出身者	指定校推薦	特別推薦 (系列校)	公募推薦	一般 ※1	大学入学共通テ スト (利用・ プラス方式)	等 ※2	社会人、 資格取得者特別	留学生 ※3	
(1)-1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
(1)-2			○	○	○	◎	◎	◎				
(1)-3	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
(1)-4				○	○	○	○	○				
(2)-1	◎	◎	◎	○	◎	○				○	○	○
(2)-2	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
(2)-3		○	○	○	○						◎	
(2)-4	◎		○	○	○					◎	◎	○
(3)-1	◎	○	◎	◎	◎	○				○	○	◎
(3)-2	◎	◎	◎	◎	◎	○				○		○
(3)-3	◎	◎	◎	◎	◎	○				○	◎	◎

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力試験利用入試があります。